

9月16日、江蘇省常州市において愛知県企業の皆さまを対象に意見交換会を開催いたしました。当日は、対面・オンラインあわせて16名の方々にご参加いただきました。

今回は、「中国物流の現在～物流規制と実務対応～」をテーマに、日日新国際物流有限公司の田口翔里氏を講師にお迎えし、中国における輸出規制の最新動向や企業への影響、実務上の対応方法についてご講演いただきました。講演では、中国から海外へ貨物を輸出する際の基本的な物流・通関の流れに加え、近年強化されている軍民両用品目（デュアルユース品目）の輸出管理について解説いただきました。

中国では2026年に入り、日本向けの両用品目の輸出管理に関する規制強化の動きが続いており、規制対象となる品目を輸出する場合には、商務部への許可申請等が必要となる場合があります。また、申請時に追加資料を求められることで審査が長期化するケースもあるため、最新の規制内容を確認し、余裕を持って対応することの重要性が共有されました。

後半の意見交換会では、参加企業から実際の輸出・通関に関する事例が数多く共有されました。これまで日本向けに問題なく輸出していた製品が突然通関で止められ、約1か月間輸出できなくなった事例や、製品の成分等を理由に税関で追加確認を受けた事例などが紹介されました。また、同じ製品でも利用する税関や担当官によって取扱いが異なるケースや、税関のシステム更新等により、従来問題なく通関できていた製品が突然確認対象となる可能性があることも共有されました。また、日本から中国への輸入時に、税関から原産地を証明する資料の提出を求められるケースが増えているとの情報もあり、インボイスの記載内容と製品表示の整合性の確認や、必要に応じた原産地証明書等の準備についても意見交換が行われました。そのほか、中国における税務・出入国管理の最近の動向や、中東情勢による国際物流への影響、EUの包装・梱包資材規制などについても情報共有が行われました。

今回の意見交換会では、中国の輸出管理を取り巻く環境が変化する中、従来問題なく輸出入できていた製品であっても、規制変更や税関での確認により物流や納期に影響が生じる可能性があることを、具体的な事例を通じて共有する機会となりました。今後も、現地企業の皆さまの実務に役立つテーマを取り上げながら、情報共有および意見交換の場を継続してまいります。

---

私たち愛知県江蘇省サポートデスクでは、現地で事業展開をされている愛知県企業の皆さまにとって有益な情報をお届けするとともに、企業同士のつながりや情報交換の機会を広げていけるよう努めてまいります。今後も、皆さまの課題や関心に寄り添った情報提供や交流の場づくりを進めてまいりますので、ぜひご活用いただければ幸いです。